

中世①「鎌倉時代」

蒙古襲来と鎌倉幕府の滅亡 A

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ 13世紀初めにモンゴル帝国ができ、ユーラシア大陸の広い地域を支配するようになった。モンゴル帝国の東部は、い元となった。13世紀後半には、う日本は2度にわたって元の襲来を受けた。え生活が苦しんでいた御家人にとって、元軍との戦いは大きな負担となり、幕府への不満が高まった。

(1) 下線あについて、13世紀前半のできごととして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 壇ノ浦の戦いがあった。 イ 承久の乱があった。
ウ 壬申の乱があった。 エ 平将門の乱があった。

[1]

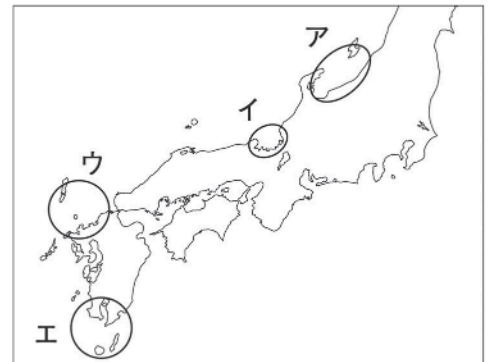
(2) 下線いについて、モンゴル帝国の第5代皇帝であり、元を建てたのはだれか。

[2]

(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

① このとき元が攻めよせた地域を、右の略地図中から1つ選び、記号で答えなさい。

[3]



② 元の軍には、元に征服された朝鮮の王朝の軍も含まれていた。この朝鮮の王朝の名を答えなさい。

[4]

③ 元の襲来について述べた次の文のうち、最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本軍の抵抗により、元の軍は2度とも上陸できなかった。
イ 元の軍の騎馬兵による攻撃に、歩兵ばかりの日本軍は苦しめられた。
ウ 元の襲来にそなえて、幕府は「てつほう」という火薬を用いた武器を開発した。
エ 元の軍は、日本軍の抵抗と暴風雨で損害を受けて引きあげた。

[5]

次ページにつづく▶▶▶

- (4) 下線えについて、御家人を救うために幕府が出した徳政令とはどのような法令か、簡単に答えなさい。

[6]

2. 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① 元について述べた文として**不適当なもの**を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 宋をほろぼして、中国全土を支配した。
- イ 都は、現在の北京である大都に置かれた。
- ウ 漢民族が建てた王朝である。
- エ 東西の交通路によって、ヨーロッパから商人や宣教師が訪れた。

年代	できごと
12世紀末	源頼朝が鎌倉幕府を開く。
13世紀後半	元の軍が2度にわたって襲来する。 <u>あ</u>
1297	永仁の徳政令が出される。
1333	<u>い</u> 鎌倉幕府がほろぶ。

[7]

- ② 元の襲来に関して述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の軍は、高麗の軍と協力して、元の軍と戦った。
- イ 戦いののち、幕府は元の領土を御家人に恩賞として分けあたえた。
- ウ 元の襲来にそなえて、幕府は六波羅探題を置いた。
- エ 幕府は2度目の襲来にそなえて、海岸に防壁（石塁）を築いた。

[8]

- (2) 下線いについて、有力な御家人の協力も得て、幕府をたおす計画を立てた天皇はだれか。

[9]